

入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成24年7月27日)

| | | | | |
|--------------------|----------------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 開催日及び場所 | | 平成24年7月6日(金曜日)2階第一会議室 | | |
| 委員 | | 高木 聡廣 (弁護士) 星野 誠之 (公認会計士) 真崎 俊男 (NHK熊本放送局副局長) | | |
| 審議対象期間 | | 平成24年1月1日～平成24年3月31日 | | |
| 審議対象案件 | | 186件うち、1者応札案件30件 契約の相手方が公益社団法人等の案件4件 | | |
| 抽出案件 | | 62件うち、1者応札案件12件 (抽出率33%) (抽出率40%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件 (抽出率50%) | | |
| 抽出 案件 内 訳 | 工事 | 一般競争 | | 27件うち、1者応札案件3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 |
| | | 指名競争 | 公募型指名競争 | 0件 |
| | | | 工事希望型競争 | 0件 |
| | | | その他の指名競争 | 0件 |
| | 随意契約 | | 0件のうち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 | |
| | 業務 | 一般競争 | | 3件うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | | 指名競争 | 公募型競争 | 0件 |
| | | | 簡易公募型競争 | 0件 |
| | | | その他の指名競争 | 0件 |
| | | 随意契約 | 公募型プロポーザル | 0件 |
| | | | 簡易公募型プロポーザル | 0件 |
| | | | 標準型プロポーザル | 0件 |
| | | | その他の随意契約 | 0件うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 |
| | 物品・ 役務 等 | 一般競争 | | 28件うち、1者応札案件5件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件 |
| | | 指名競争 | | 0件 |
| | | 随意契約(企画競争・公募) | | 0件 |
| 随意契約(その他) | | 4件うち、1者応札案件4件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 | | |
| (特記事項) | | | | |

| 各委員からの意見・質問、 | 意見・質問 | 回答等 |
|--------------------|---|---|
| <p>① それに対する回答等</p> | <p>① 西都造林素材生産事業協同組合の指名停止理由が、森林整備事業の生産材に請負箇所隣接する民地の生産材を混入させたとあるが、なぜこのようなことが起こったのか。</p> <p>② 低入札価格調査を行う基準はあるのか。</p> <p>③ 予定価格の事前公表は行っていないのか。</p> <p>④ 城山27林道新設工事で参加した5者のうち4者が予定価格をオーバーしているがなぜか。</p> <p>⑤ 造林休憩所解体工事は、どのような工事か。新設はしなかったのか。</p> <p>⑥ 宿舎修繕は1者応札であったが、なぜか。</p> <p>⑦ 治山実施設計業務の落札者は公益法人の(社)宮崎県治山林道協会となっているが、どのような団体なのか。</p> <p>⑧ 森林整備事業の保育間伐(活用型)で参加等級が全等級のものがあるが、なぜか。</p> <p>⑨ 森林整備事業の保育間伐(活用型)の予定数量で保育間伐の材積と集造材の材積の違いは何か。</p> <p>⑩ 空中写真作製業務は、1番札と2番札との差が大きいのはなぜか。実質、競争性が確保できていないのではないのか。</p> <p>また、一般競争入札は競争性、透明性を図るうえで重要であるが、事務軽減を図る観点から、効率性も考慮した契約方式の検討が必要ではないか。</p> | <p>① 森林整備事業で予定生産量を下回る見込みとなったことから、生産量を確保するため、請負箇所に隣接する自社購入林(民有林)の生産材の一部を混入させたものである。</p> <p>② 国有林野事業特別会計に係る工事又は製造その他の請負契約で、一契約に係る予定価格が1千万円を超えるものが該当する。</p> <p>③ 事前公表は行っていない。</p> <p>④ 林業専用道になり、構造物を極力抑えた低コストの工事が求められており、業界から単価が厳しいとの声があがっていることから、予定価格をオーバーした見積もりになったと思われる。</p> <p>⑤ 造林休憩所が老朽化していることから解体撤去を行った工事である。新設は行っていない。</p> <p>⑥ 工事期間が年度末に及ぶ工事のため、入札参加者が少なかったと思う。</p> <p>⑦ 宮崎県認可の公益法人であり、九州森林管理局の「測量・建設コンサルタント等業務」の競争参加資格を有している団体で、測量コンサルタント業務等の実績を有している団体である。</p> <p>⑧ 森林整備事業の保育間伐(活用型)は、1者応札が多いことから、競争性を確保するため、参加等級を全等級としているものもある。</p> <p>⑨ 保育間伐の材積は、全体の間伐量で、集造材の材積は実際に搬出する数量である。</p> <p>⑩ 空中写真作製業務を実施できる者がどのくらいあるのか把握するために、先ず公募を行い、2者以上の応募があった場合に、一般競争入札を行うことになっており、今回の契約については2者から応募があったことから、一般競争入札を行ったものである。</p> <p>なお、応募が1者であった場合には随意契約(公募)を実施している。</p> <p>今回の契約では、国土地理院から</p> |

| | | |
|--|----|--|
| | | <p>空中写真の管理業務を預託された（財）日本地図センターが落札しており、2番札の者は（財）日本地図センターから空中写真を購入、複製することが推測されることから、値開きの要因となったと思われる。</p> <p>しかしながら、昨年度と同業務の入札では4者の入札参加があったところであり、（財）日本地図センター以外の者が落札していることから、競争性はあると判断している。</p> <p>なお、効率性を考慮した契約方式の検討については、意見があったことを林野庁へ進達したい。</p> |
| <p>委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]</p> | なし | なし |

事務局：九州森林管理局企画調整室